サウンド・デザイン

福岡女学院大学 2020年度 前期 木曜2限 第6週

音と物理

エフェクター100本ノック!

※実際は100個もやりません

今回の内容:

- 録音素材をベースにしても、シンセサイザーを基にしても、音を 印象付けるために様々なエフェクトを使うことは欠かせない。
- しかし、エフェクトはとにかく種類が多い。まずボキャブラリー を増やすやめに、エフェクターの名前と音の印象を対応づける

今日考えるところ

前回に引き続き

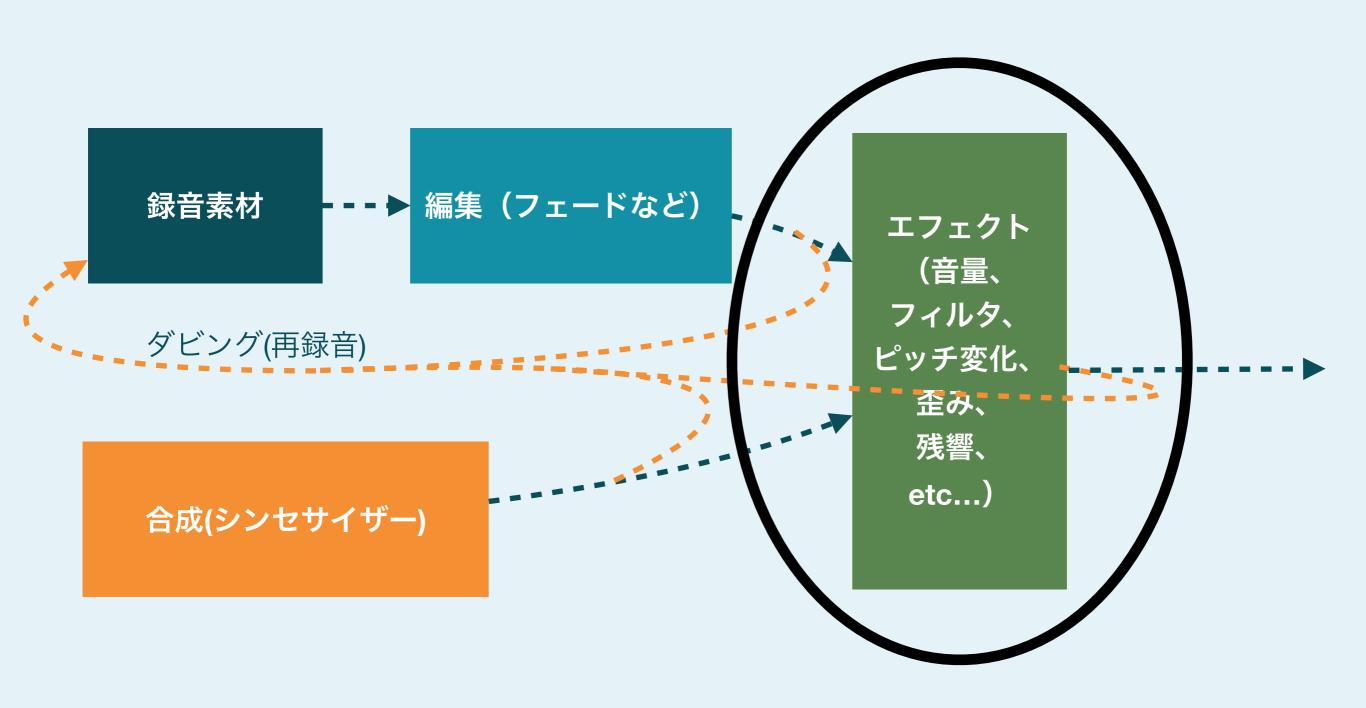
量的な共有 Quantitive 統計的な共有 Statistical



質的な共有 Qualitative



基本的戦略



前談:

エフェクターは、作れる

物理的に音響効果を作る

プレート・リバーブ



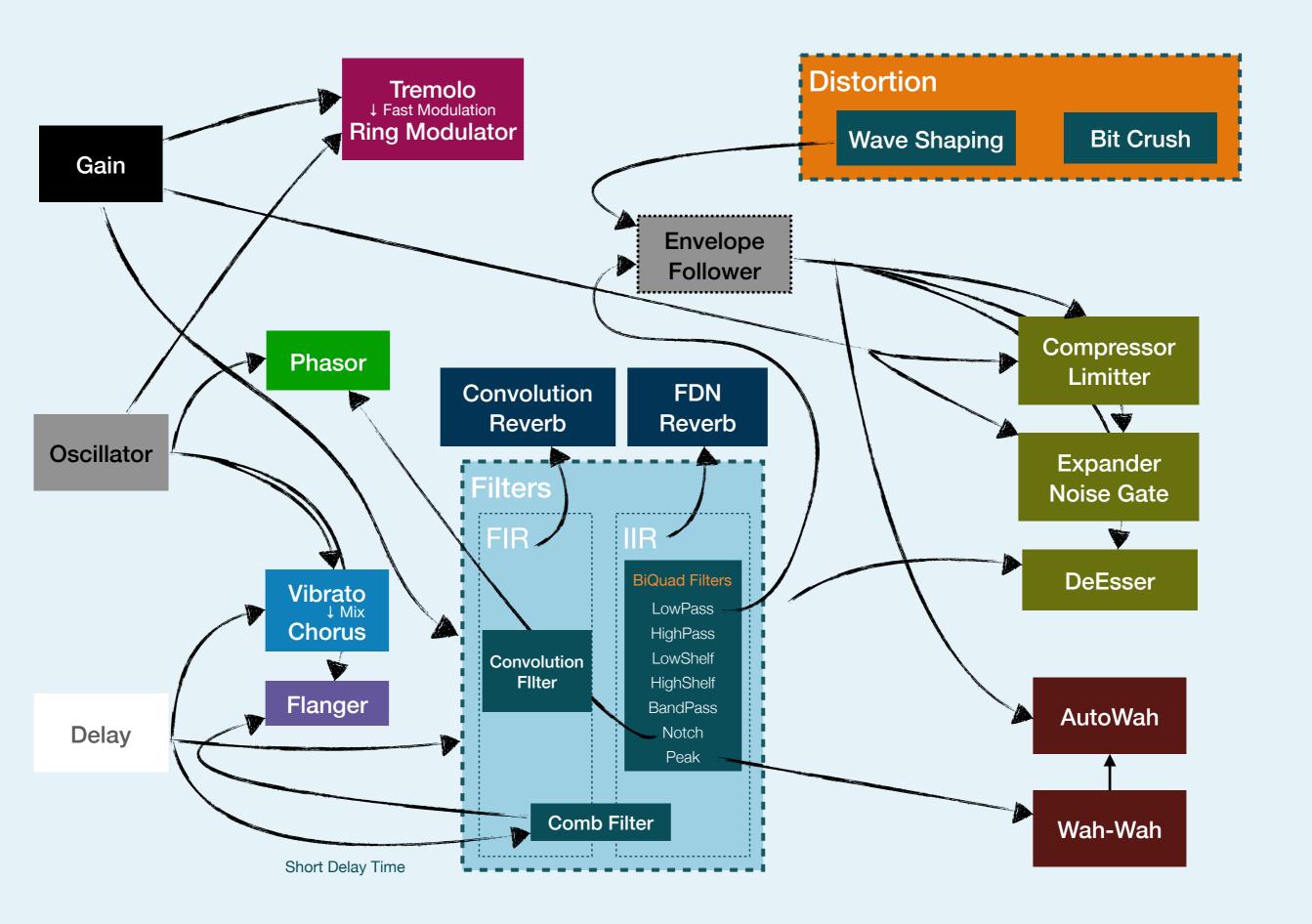
https://www.soundonsound.com/techniques/choosing-right-reverb

物理的に音響効果を作る

バシェ兄弟の音響彫刻



エフェクターのロードマップ

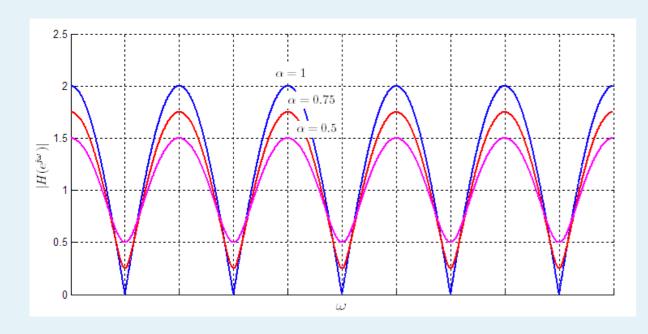


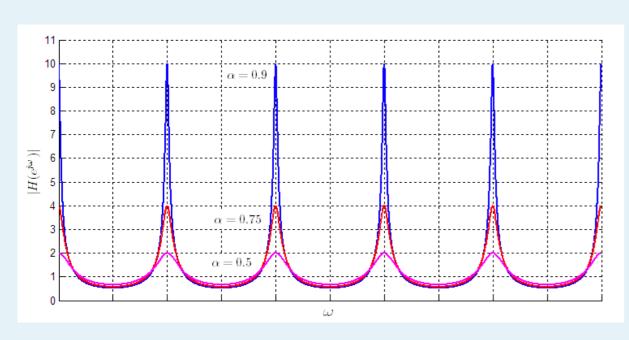
ディレイ

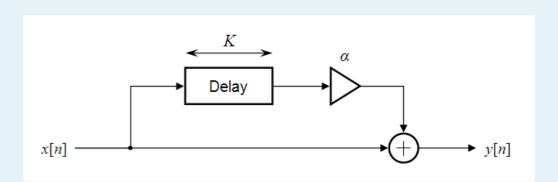
- 遅延時間によって印象が変わる(~50ms:空間印象、音色の変化/ ~50ms エコーの効果)
- 送らせた信号を再び入力にフィードバックすることで、やまびこのように何度も繰り返した音が聞こえる
- フィードバックする時にさらにエフェクトを掛けると、繰り返し ごとにエフェクトの効果が強調される

コムフィルター

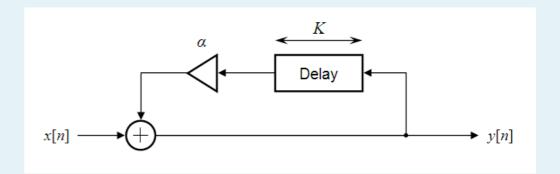
短いディレイ:遅延時間に応じ整数倍で打ち消し合う







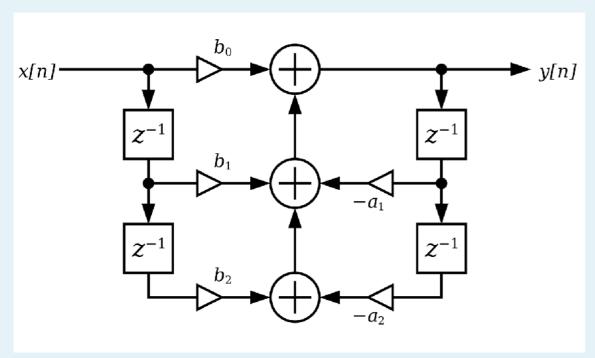
フィードバックを増やすと周波数が強調される



[2][3][4][5]

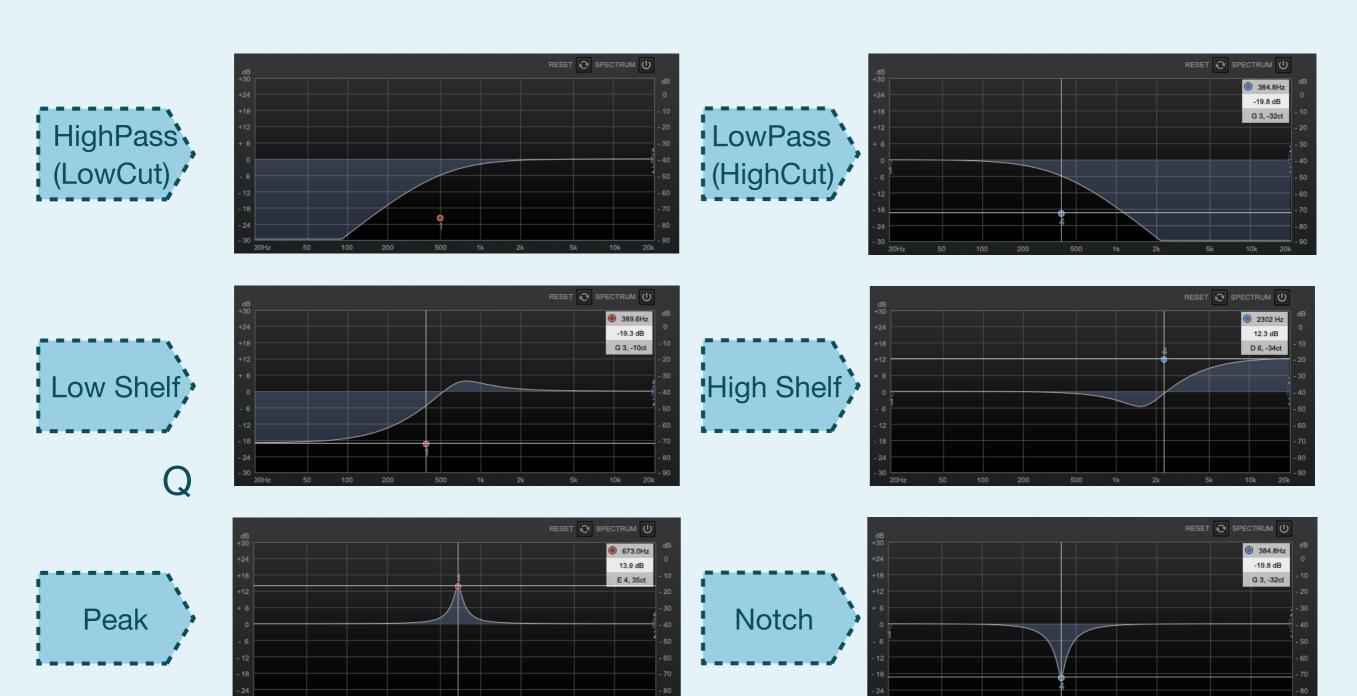
フィルター

短いディレイ:遅延時間に応じ整数倍で打ち消し合う

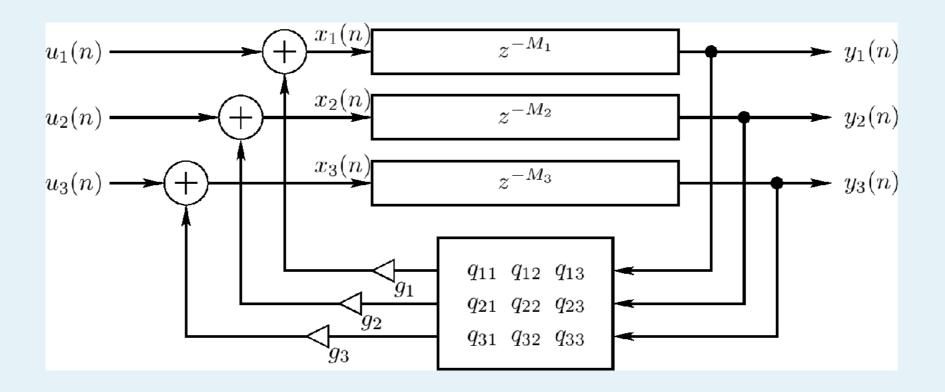


- 双二次(Biquad)フィルタ
- Z⁻¹は1サンプルのディレイ
- 5個のゲインを操作することで様々 な特性が得られる
- ゲインの決め方の計算は難しい

Biquadフィルタで作れるカーブ



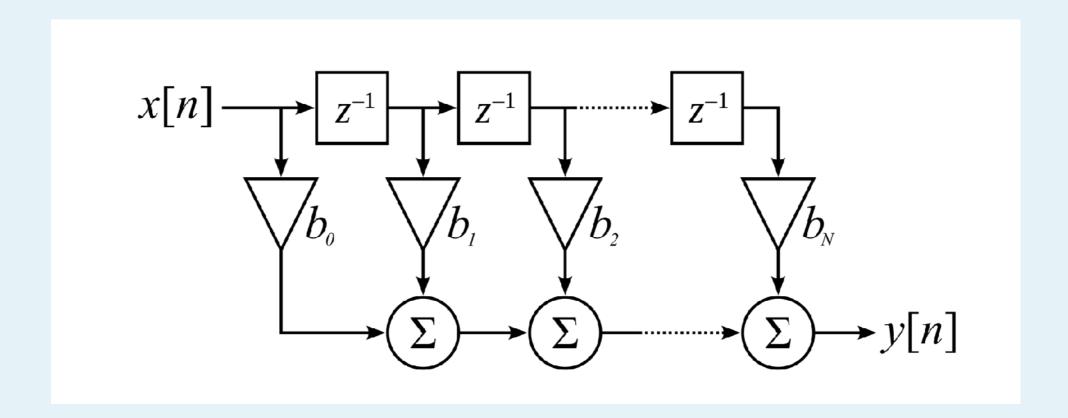
Reverb



- Feedback Delay Network
- コムフィルタのような特定の周波数だけが強調されないようにゲインや遅延時間を決める

From "Physical Audio Signal Processing", by Julius O. Smith III, W3K Publishing, 2010, ISBN 978-0-9745607-2-4

Convolution Reverb



- インパルス応答(空間の残響の特性)を測定して再現できる
- けど、処理は少し重い

モジュレーション系

Vibrato:ディレイの**遅延時間**を揺らす

Chorus:ディレイの遅延時間を揺らして原音と混ぜる

Flanger:コムフィルターの周波数を揺らす

Phasor:ノッチフィルターの周波数を揺らす

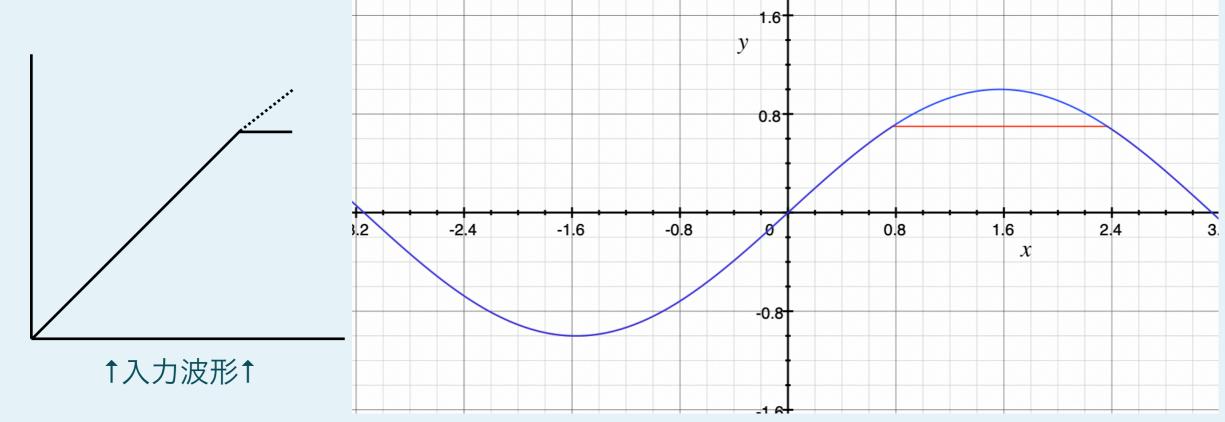
Tremolo:音量を揺らす

Ring Modulator: 音量を**高速に**揺らす

Distortion

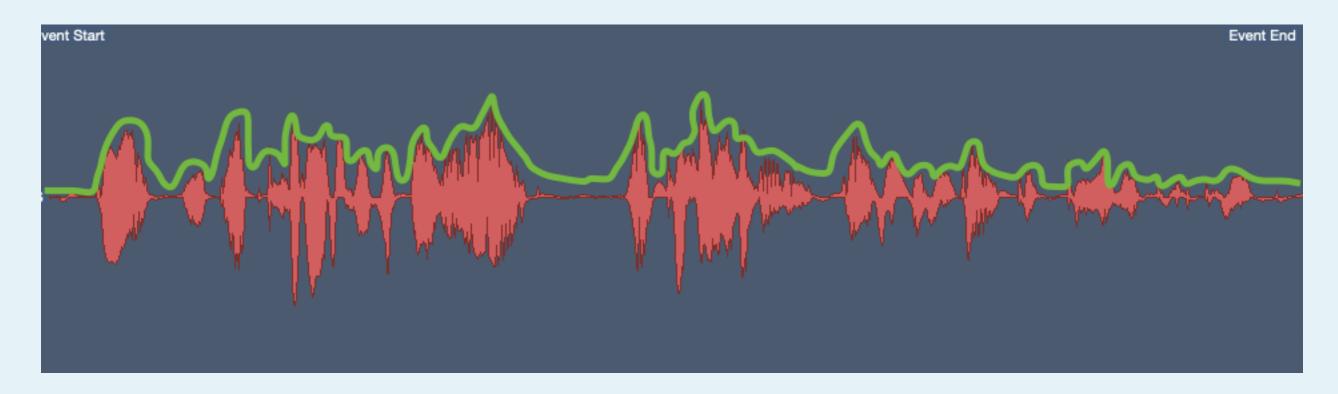
歪み(ひずみ)

- 波形の上下を特定の範囲で切り取ったり、押し縮めたりする
- 周波数的に見ると、倍音成分が増える
- 上下対称に切ると奇数次倍音が、非対称に切ると偶数次倍音も



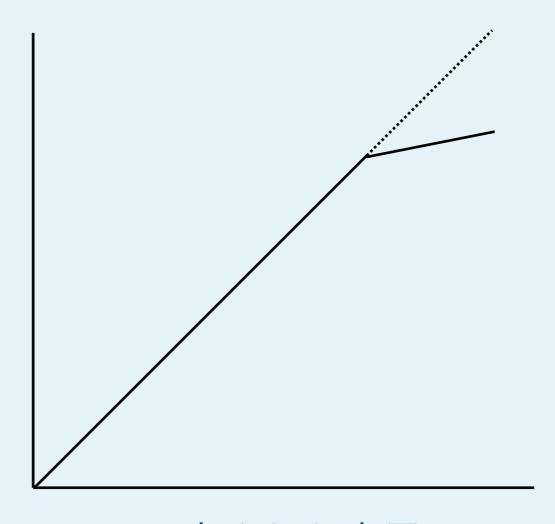
Envelope Follower:音量抽出

- 赤い波形から緑のEnvelope:包絡を抽出して、音量変化をみたい
- 大雑把にいうと、波形を上半分に折りたたんでLowpassフィルタ
- この音量を元に更に他のパラメータを操作する



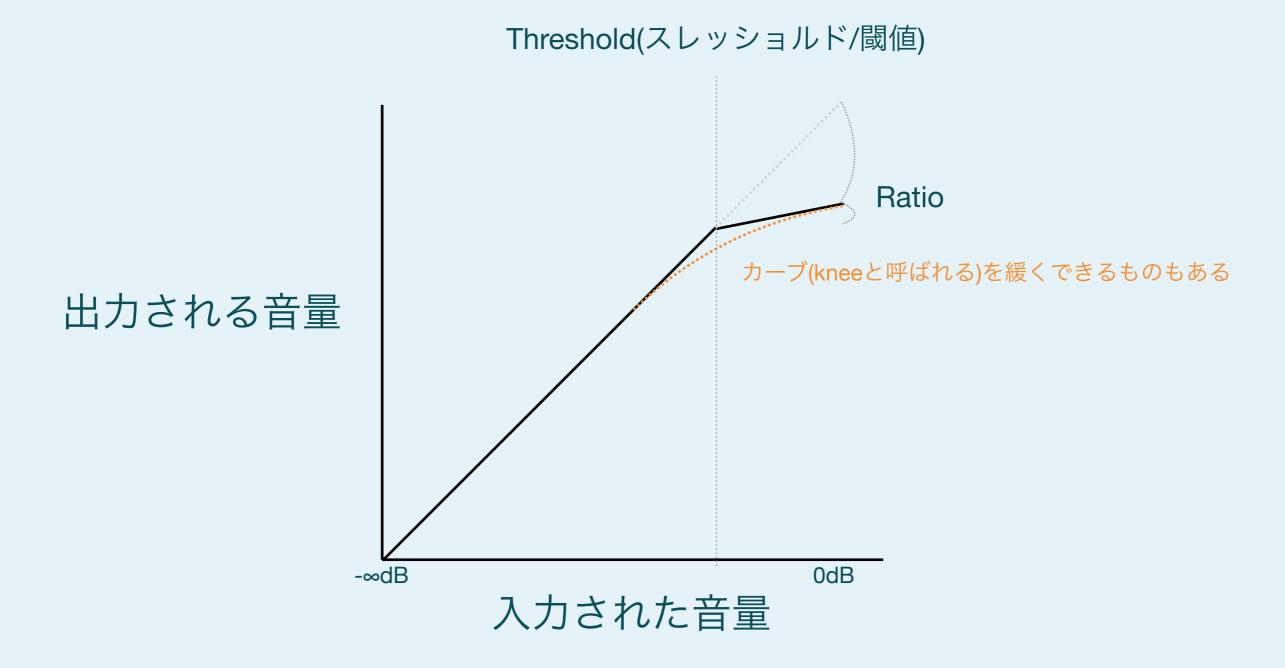
Compressor/Limitter/Expander/Noise Gate 音量で音量を操作する

出力される音量



入力された音量

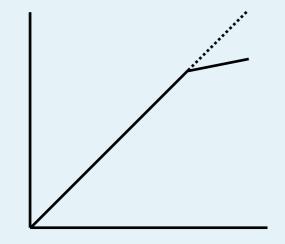
Compressor/Limitter/Expander/Noise Gate 音量で音量を操作する



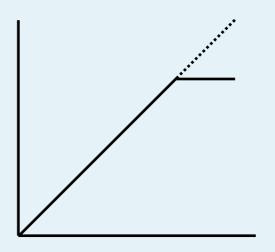
Compressor/Limitter/Expander/Noise Gate

音量で音量を操作する

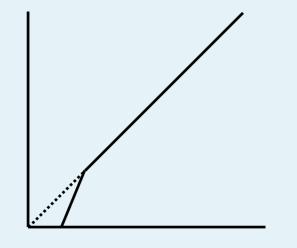
Compressor:大きい音を小さく



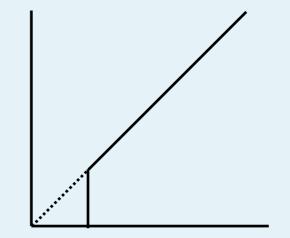
Limitter:一定以上大きな音が出ないように



Expander:小さい音を更に小さく



Gate: 小さい音は無音にしてしまう



Envelope + a

Auto-Wah: ピークフィルターの周波数を音量で操作

DeEsser: Lowpassのゲインを高周波の音量で操作

Ducking: ある音の音量を別の音源の音量で操作

Image Credits

- [1] By Marc antoine millon Own work, CC BY-SA 4.0, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=34036441
- [2]Oli Filth Own work, created with MATLAB and Adobe ImageReady, CC BY-SA 3.0, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1469590
- [3]Oli Filth Own work, created with Microsoft PowerPoint and Adobe ImageReady, CC BY-SA 3.0, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1469575
- [4]Oli Filth Own work, created with MATLAB and Adobe ImageReady, CC BY-SA 3.0, <u>https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1469585</u>
- [5]Oli Filth Own work, created with Microsoft PowerPoint and Adobe ImageReady, CC BY-SA 3.0, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1469573
- [6]By Akilaa Own work, CC BY-SA 3.0, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=9984215

•